達人図鑑

まなんでひらいて

呉市制100周年祭の様子。
観光ボランティアの皆さんと一緒に（左から6番目）

バルーンアートで子どもに夢を

パフォーマンスの時にはピエロに変身

バルーンアーティスト、切り絵の実演・指導
山窪愛子（やまくぼあいこ）さん

創造力のある人には分かる？
"ドラえもん"

きっかけは先生との出会いから

呉市在住の山窪愛子さんは、バルーンアートの達人です。広島市内はもちろん吉森のイベントへ参加したり、遠くは海の向こうフィリピンまで、ストリートチルドレンのためのパフォーマンスに出掛けるなど、国内外で活躍しています。

それまでバルーンアートに興味はあったものの、なかなか触れる機会がなかった山窪さん。しかし、平成10年（1998年）に中区竹屋公民館で行われたバルーンアーティストの吉長孝衛さんのバルーンボランティア講座に参加し、その魅力のとりこに。わずか4カ月余りで免許皆伝。初のバルーンアート公演を、ご自身が勤めている病院のデイケアで行いました。それが地元の情報誌に取り上げられたことから、いろいろな所から声が掛かるようになったそうです。

人とは違う活動を

山窪さんがほかのバルーンアーティストと違うのは、自分で会場の装飾までやってしまうところ。佐伯郡能美町中町小学校の創立130周年記念式典では、体育館全部を装飾しました。また、「子どもたちを感動させたい」という思いから、毎年呉市内で山窪さん主催のイベントを行っています。昨年は、ちくわを尺八にする岡山県の住宅正人（すみたくまさと）さん、昨年度尺八日本一の日當鶴山（ひとうかくざん）さんの二人を招いて、「ちくわコンサート」を行いました。今年は、6月15日に呉ポートピアパークで「心いきいき笑いまSHOW」を上催し、切り絵の切り絵たかしさん、Dr・マジックの伊藤実喜（いとうみき）さんも出演、600人もの観客が楽しみました。

活動を通して生まれること

「イベントを行うたびに、新しい友人ができます。再びその地域に行けば、その人が助けてくれます」。

広島総合銀行尾道支店で作ったクリスマスツリー

支えてくれる人がいる、という事実が山窪さんの原動力。「しんどいこともあるけど、子どもたちが喜んでくれる顔を見たいから」とニッコリ。

「人間ってすごくいい。話してみたら、隣の人はとてもすてきかもしれない」というのが山窪さんの信条。それを分かってもらいたくて、あちこちで活動しているそうです。

「家庭を犠牲にしたこともありましたが、それは、家族の協力で乗り越えてきました。これからは、もう少し自分の生活を大切にしつつ、バルーンアートを続けていきたい」とのこと。6月からはボランティア人材バンクにも登録し、ますます"あいちゃん"の活躍に目が離せそうにありません。

音楽を通して人とつながる。

コンサート企画・演奏
Ciel（シエル）

癒しや安らぎ、ほっとした空間が求められる現在。公共施設のロビーなどで行われる、ロビーコンサートが人気を呼んでいます。

「音楽を媒体として何かしたい」という思いから、ロビーコンサートなどの企画・運営を行っている「Ciel（シエル）」の代表、坂本めぐみさんにお話を伺いました。

音楽を通して人と触れ合う

「Ciel（シエル）」は、ピアノ・坂本めぐみさん、クラリネット・西山智美さん、フルート・岡田亜希子さんの3人で構成する変則カルテット。公民館まつりやサークルのイベントなどで、コンサートを行っています。坂本さんがこの活動を始めたのは、大学3年生の頃、「ステージ作り」の授業に参加したことがきっかけでした。音楽を通して人と触れ合えればと、同級生を集めて活動を開始。公民館などで、コンサートを開きました。卒業してからは、大学の同級生だった西山さん、岡田さんに声を掛け、「Ciel（シエル）」を結成。もっと多くの人に、音楽の楽しさを知ってもらいたいと考えて、ボランティア人材バンクに登録したのです。

以前は、活動を知ってもらうために自分でチラシを配ったり、公民館に売り込みの電話をかけたりしていた坂本さん。人材バンクに登録してからは、病院や身障者施設など、今まで自分たちのネットワークになかった場所からも、公演依頼が来るようになったそうです。

「求められて、いろいろな人に会えるということが、本当にうれしいです。喜んでもらえる機会が増えたのですから、気合も入りますよ」

自分のためにしたことが、人のためになる

フランス語で「空」を意味する「Ciel（シエル）」。空のようにいろいろなカラーを持ち、人の心に残る演奏をしたい。その思いの通り、ジャンルを問わず、気軽にどこにでも出掛けてコンサートを行うのが「Ciel（シエル）」のモットー。しかし、ボランティアをしているという気持ちはないそうです。

「演奏すること」とは楽しいし、それをみんなに喜んでもらえるなら、こんなにうれしいことはありません。ボランティアをしているというより、刺激を与えてもらっているという気持ちで演奏しています」。心地よく楽しんでもらえるように、選曲やアレンジにも工夫を凝らしています。

手前が岡田さん。右が西山さん。
左が坂本さん

今後の活動

5月11日、まちづくり市民交流プラザ開館一周年の人材バンク発表会で、ロビーコンサートを行いました。「今後は人材バンクに登録しているほかの達人と協力して、多彩なコンサートを開きたい」と坂本さん。「音楽に形はありません。だから、人の記憶に残ることをしたいんです。トークショーを交えたコンサートなど、私たちにしかできない何かをするために、今はがむしゃらにがんばっています」。

市民交流プラザで行われた「はしっこコンサート」の様子

INFORMATION

●今回「達人図鑑」でご紹介している方々は、「ボランティア人材バンク」に登録されています。

●ボランティア人材バンクは、「仕事や学習、趣味などで得たノウハウを生かして、ボランティアで依頼団体に助言や指導、さらには技の披露などを行う人」を登録しているリストです。

紹介申込・登録申込などのお問い合わせは…
まちづくり市民交流プラザ
TEL 082-545-3911 FAX 082-545-3838

人